

全体回答数 49件 (63.6%)

第1部

『就労支援のプロセス』 (回答数49)

満足度

とても満足	49.0%
満足	46.9%
少し物足りない	4.1%
物足りない	0.0%

感想

- ・ 行動観察によるアセスメントの記載方法など、具体的な記載方法について学ぶことが出来た。
- ・ 「情報整理のポイント」で「可能であれば本人に文章化してもらおう」というのは双方にとって齟齬が生じにくく、活用していきたい。
- ・ 印象的だったのは、行動観察によるアセスメントの行動描画法。具体的な記述、数値化する方法や解釈と事実をわけるということ。
- ・ アセスメントをして表面的な部分だけしか聞き出せていないことに気づけた。言葉の背景からも読み取ることを意識して、情報整理し、本人、支援者ともに理解していくことが支援する上での大切なことだと学べた。
- ・ 普段のアセスメントで「出来ている事」「足りない事」など改めて気付く事ができたように思う。
- ・ 資料の中で難しい単語などが多かった。まだまだ知らないことや学んでいくことが多いと感じ、1つずつ知っていきたいと思った。
- ・ インテークにおいて”言葉よりも「話したいこと」に注目”という話題が印象的。本人の言葉の表面的な部分だけを汲み取るのでは、本当の支援につながらないということを改めて考えさせられた。
- ・ チームづくりをしていく重要性を感じた。どこでイニシアティブをとっていくのか、本人の気持ちに寄り添っているかなど、ひとつひとつ確認していく手続きを怠らないことが大事だと思う。

『精神障がいの職業的課題と支援のポイント』（回答数49）

満足度

とても満足	46.9%
満足	51.0%
少し物足りない	2.0%
物足りない	0.0%

感想

- ・ 精神障がいだけでなく、他の障がいの職業的課題と支援のポイントも聞きたい。
- ・ 支援者の伝え方、指示の出し方、相手に対する気付き等を繰り返し学んでいく必要性を感じた。
- ・ 個別性の高い支援をするために、チームで動けると色々な意見が出て良いと思った。
- ・ もっと具体的な事例を出していただきたいかった。
- ・ 意見交換ができると良かった。

『ケーススタディ（関係機関、家族と連携した支援）』（回答数49）

満足度

とても満足	42.9%
満足	42.9%
少し物足りない	8.2%
物足りない	2.0%
無記入	4.1%

感想

- ・ 就労支援に携わる人であっても正確にそれぞれを説明できる人は少ないと思う（私も正確に説明できる自信がありません・・・）ので、「各機関の果たす役割」みたいなテーマで学べたらいいなあ、なんて、以前から思っていた。
- ・ リモート参加の為、グループワークができず残念でした。各グループの発表がもう少し聞けたら良かった。

第2部

『企業との関わり方（企業交渉）』（回答数16）

満足度

とても満足	68.8%
満足	31.2%

感想

- ・ 企業との関わりが施設外就労の機会しかなかったので、勉強になった。
- ・ ケーススタディと同様に、実際の交渉を想定して考えることができたのが良かった
- ・ 限られた時間の中で雇用を進めていくために事前把握が大前提であり、それはお互いの負担を減らすことにもつながること、企業との関わりという点では本人に合わせてのトーンを出し過ぎないことも重要だと感じた。
- ・ 今回の例は初めて障がい者雇用する企業でしたが、久しぶりに雇用する企業や担当業務の切り出しに困っている企業への関わりも知りたい。
- ・ グループワークとロールプレイで実践に近い状況を見られたことでイメージがしやすく、自分なりに理解することが出来た。
日々利用者さんの支援を行っていることで、考え方の比重が利用者さんによりがちであると認識でき、振り返る良いきっかけとなった。

その他

- ・ 可能であれば、障がいを抱えながら企業等で働いている当事者の方の経験や体験などを伺える機会もあれば、ありがたいと思う。
- ・ 障がい特性の理解については以前、就労・社会活動部会の中でもあったが、今回の話を聞いて知的障がいや発達障がい等についても改めて学びたいと思った。